

環境に係わる情報協議会

国営かんがい排水事業 土幌川下流地区

1. 事業の概要

◆事業の目的

本地区は、土地利用及び降雨形態の変化に伴い、降雨時における流出量の増加により通水能力が不足しており、周辺農地では湛水被害が発生している。このため、本事業により排水路の整備を行い、農地の湛水被害を解消し土地生産性の向上及び農作業の効率化により、農業経営の安定を図り地域農業の振興に資するものである。

◆受益面積 1,049 ha

◆主要工事計画 排水路 1条、L=6.3 Km

2. 関係市町村の環境に対する考え方

(音更町田園環境整備マスタープランより)

◆農村環境の現状と課題

《現状》

町内には景観の要素となる緑が多く残されているが、その保全と活用が求められている。

《課題》

河川改修にあたっては、自然に配慮し潤いのある水辺環境づくり。

河川空間の緑の保全と有効利用などに向けた、住民と行政の連携を図り、緑豊かなまちづくり。

◆環境保全の基本的な考え方

- 河川改修にあたっては、自然体系を損なわないよう、生態系の保全に配慮した工法を図る。
- 自然環境や動植物生態系を保ちつつ、自然と調和できる事業推進に努める。

3. 事業による環境との調和への配慮

◆基本方針

地域の環境保全に対する基本方針を踏まえ、施設の整備にあたっては、自然環境や生態系への影響を最小限にする工法を採用する等の配慮を行う。

◆取組内容

- 水辺環境に配慮した護岸工法による整備
 - ・ フトン箆護岸を採用し、魚類等の生息環境に配慮する。
 - ・ 排水路の法面を自然繊維植生シートで被覆し、河岸植生の早期回復に配慮する。
- トンボ類の生息環境への配慮
 - ・ 生息池への影響を避ける路線計画と施工期間に配慮する。
- 魚類等の生育環境に配慮した仮設工
 - ・ 排水路の施工時には沈砂池を設置し、濁水処理を行い魚類の生息環境に配慮する。
- 農村景観及び緑のネットワークへの配慮
 - ・ 農村景観上及び緑のネットワーク上の重要な要素となっている排水路沿いに残る河畔林の伐採を極力回避する路線計画。